



Eコース通信

No 3
令和3年
6月

アーク溶接特別教育

隠岐水産高校では、「アーク溶接特別教育」と「ガス溶接技能講習」の2つを隔年で行っています。今年度は「アーク溶接特別教育」を開講し、51名の生徒が受講しました。

アーク溶接とは？

アーク溶接とは、「アーク放電」と呼ばれる空気中の放電現象を利用し、このとき発せられる5,000℃以上もの熱で同じ金属同士を溶かしつなぎ合わせる溶接方法で、船舶はもちろん鉄道車両や建築物、建設機械などあらゆる金属構造物に使われています。



6月9日（水）～11日（金）の3日間、学科と実技を含めて実施されました。

実技の最後には鉄板を溶接して箱を作り、中に水を張って漏れないかチェックします。

中には水がじわじわと漏れ出す班も。これが海に浮かぶ船だと考えると...

アーク溶接作業に従事する際には、この「アーク溶接等特別教育」受講後に発行される修了証（交付は18歳以上）が必要となります。アーク溶接は造船や生産工場、建設現場など多くの場面で行われる作業です。また、法律によって受講が義務づけられていることもあり、有資格者は多方面からの需要があります。生徒はこうした「資格」に積極的に挑み、自らの進路の幅を広げています。来年度はガス溶接技能講習を開講する予定です。